

2025 年 5 月 20 日

「日本医療・環境オゾン学会 医療・環境オゾン研究」への論文掲載

株式会社 I H I 物流産業システム
プロジェクトセンター
環境エンジニアリング部

オゾンは高い除菌力と共に、環境に優しい除菌剤として、利用が拡大していますが、容易に分解するために持ち運びが難しく、現場で製造する必要があります。近年、ファインバブルが注目されており、医療を始め多岐にわたる分野で応用が進んでいます。当社では、当該技術を活用、高い除菌力が長期間持続できるファインバブルオゾン処理水（FBO₃処理水）の製造と、除菌などの応用研究に取り組んでいます。FBO₃処理水である新除菌水「Re:Clear（リクリア）」及び霧化式空間除菌装置（IR-10）の販売を始め、多くの分野での除菌対策としてご活用いただいております。

この度、救急資機材として使用されている感染防止衣に対する「Re:Clear（リクリア）」の除菌効果などに関して執筆した論文が、当該学会の学会誌に掲載されました。

●題名

ファインバブルオゾン処理水による感染防止衣の除菌

●学会誌

医療・環境オゾン研究 Vol.32.No.1（2025）

●要旨

近年、救急現場用の感染防止衣の除菌に際しては、繊維劣化の少ない除菌剤による処理が求められています。そこで「Re:Clear（リクリア）」を使用して一般細菌に対する除菌効果について、救急現場で適用可能か否かについて検証しました。最初にフィルターを対象として噴霧処理を行い、高い除菌効果を確認、その後、実運用を想定した感染防止衣担体での除菌試験を行った所、大腸菌などに対して 99.99%以上の除菌効果を示したことから、現場に近い使用条件で「Re:Clear（リクリア）」による除菌効果の有効性が示唆されました。

●日本医療・環境オゾン学会(外部リンク)

[日本医療・環境オゾン学会](#)

今後も皆様にとって有意義な情報を提供できるように、継続的に社外に向けた情報発信を行って参りますので、よろしくお願い致します。

以上